

活動完了報告

「ルイーザマンケッリ・オペラ指揮者コンクールへの挑戦」活動助成

(氏名)丸山 貴大

《報告および成果》

今回初めてイタリアの国際オペラコンクールである「ルイーザマンケッリ・オペラ指揮者コンクール」に参加することができたが、結果はセミファイナル進出にとどまり、ファイナルに進むことは叶わなかった。

今回のコンクールでは率直に自分の歌手やオーケストラとのコミュニケーションスキルの上達を感じ、自分が現在勉強していることの中身や方向性が非常に良いものだとの確信することができた。コンクール終了後にも歌手やオーケストラの奏者からたくさんの評価の声を頂いた。

一方でファイナルに進めなかった理由は、伝統的なテンポの選択と違うことを自分がしようとしたときに、一部うまくいかない箇所があったことである。審査員達は伝統的な解釈を嗜好していたが、仮に自分と解釈の方向性や好みが違ったとしても、彼らを説得するような音楽表現をすることは可能であったと考えている。また、自分が行ったりハーサルは悪いものではなかったと感じているが、それでももっと効率的で舞台にもっとオペラの雰囲気を充満させるような方法が必ずあるはずである。次回コンクールに挑戦するときは、必ずや審査員を含む全員を深い音楽世界に誘うようになりハーサルをすると心に決めている。このコンクールが終了した後、私はミラノとトリノにて2つのオペラのプロダクションを指揮した。今回のコンクールの経験が生きたのは言うまでもないが、指揮者としてオペラ公演を完成させるプロセスをしっかりと経験して理解し、本番までの全ての工程の中で何が必要なのかを具体的に知ることが、指揮者として最も大切なことのひとつであると感じている。後日、これらの公演の様子は報告させて頂きたいと考えている。

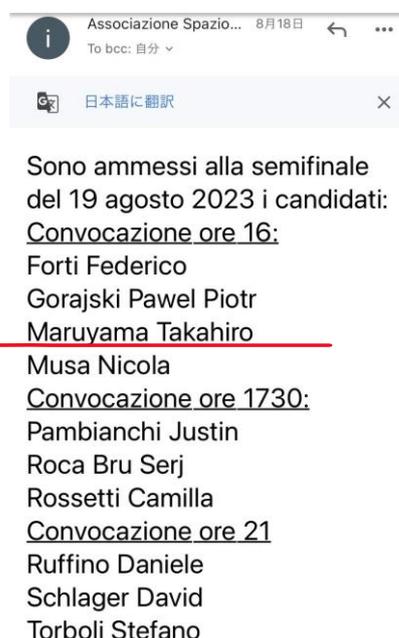
《今後の課題》

これらを経た上での私の現在の課題は、まずはリハーサルの際に自分の指示を受けた歌手、もしくはオーケストラがその指示を守ることが、どのような音楽的な結果につながり、そのために自分が

何をすればいいのかということが、確信というレベルで腑に落ちるような明瞭な意図をもったリハーサルをできるようになることである。また私の信条は、人の力を最大限引き出すことなので、オペラというたくさんの方が関わる場において、各々の長所を引き出すための具体的な提案をすること、さらに指揮法の観点においては、もっと長いフレーズ感で歌手、オーケストラをリードできるようになることである。また指揮者の基本中の基本であるテンポと強弱を正確に伝えることに関しては一生かけて磨いていこうと思う。指揮者は何よりもまず人を支える存在であり、その延長線上にみんなを巻き込む表現があると考えている。そのため人間としての器を大きくすることも意図して行っていきたい。

ルイージ・マンチネッリ国際オペラ指揮者コンクール・公式ウェブサイト

<https://www.spaziomusica.org/concorso-luigi-mancinelli>



Associazione Spazio... 8月18日
To bcc: 自分

日本語に翻訳

Sono ammessi alla semifinale
del 19 agosto 2023 i candidati:
Convocazione ore 16:
Forti Federico
Gorajski Pawel Piotr
Maruyama Takahiro
Musa Nicola
Convocazione ore 1730:
Pambianchi Justin
Roca Bru Serj
Rossetti Camilla
Convocazione ore 21
Ruffino Daniele
Schlager David
Torboli Stefano